

たきがはら せいそくち
滝ヶ原のホトケドジョウ生息地

種 別	小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日	平成29年12月27日
所在地	滝ヶ原町

ホトケドジョウは体色が茶褐色で、通常、黒い斑点^{はんてん}がある。ドジョウと比べると体は太くて短く、八本の口ひげがある。生息には、落ち葉の堆積があり、水草類^{はんも}が繁茂する浅い湿地を好む。

日本における分布は青森県と中国地方西部を除く本州と四国西部である。石川県内では、宝達志水町、かほく市、能美市、小松市、加賀市で生息が確認されている。

現在、ホトケドジョウは環境省絶滅危惧IB類^{ぜつめつきぐ}、石川県指定希少野生動植物種、絶滅危惧II類に指定された希少種である。

滝ヶ原のホトケドジョウ生息地は、標高約九十メートルの里山に位置する廃田湿地で約1,700 m²を測る。平成十三年にトンボ公園として整備されて以降、環境が向上し、生息数も増えてきている。市内ではホトケドジョウの確認数が最も多く、石川県を代表する生息地である。

生息地は除草^{じょそう}、通水等の維持管理がなされ良好な湿地環境が保たれていて、オオニガナや、ハッチョウトンボをはじめとする多くの水生、湿地性生物が生息、生育している場所である。当地を天然記念物として指定することは、里山の湿地環境の重要性を認識することにつながると評価される。



滝ヶ原のホトケドジョウ生息地（トンボの楽園）



ホトケドジョウ